

平成21年 2 月宮崎県定例県議会

# 環境・新エネルギー対策特別委員会会議録

平成21年 3 月16日

場 所 第3委員会室

平成21年 3月16日（月曜日）

---

午前10時0分開会

---

会議に付した案件

○協議事項

1. 委員会報告書について
  2. 委員長報告（案）について
  3. その他
- 

出席委員（14人）

委 員 長	西 村 賢
副 委 員 長	河 野 哲 也
委 員	徳 重 忠 夫
委 員	井 本 英 雄
委 員	蓬 原 正 三
委 員	黒 木 覚 市
委 員	押 川 修 一 郎
委 員	外 山 衛
委 員	宮 原 義 久
委 員	黒 木 正 一
委 員	凶 師 博 規
委 員	権 藤 梅 義
委 員	川 添 博

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

---

事務局職員出席者

政策調査課主事	近 田 暁 洋
議事担当主査	隈 元 淳 二

---

○西村委員長 それでは、ただいまから環境・新エネルギー対策特別委員会を開会いたします。

委員の皆さまにおかれては、約1か月にわたる定例会審議で、お疲れのところとは存じます

が、本日もよろしくお願ひいたします。

それでは、まず、本日の委員会の日程についてであります。お手元に配付の日程（案）のとおり進めてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 それでは、そのように決定いたします。

早速、協議に入らせていただきます。

まず、委員会報告書についてですが、委員会報告書につきましては、正副委員長のほうで原案を作成させていただきまして、先日、書記が持ち回りをして、委員の皆さんの御承認を事前にいただいたところでありますが、その報告書をもって議長への報告としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 それでは、そのように決定いたします。なお、報告書につきましては、定例会最終日であります3月18日に、他の特別委員会の分も併せて合冊をして、議場に配布いたしますので、御了承をよろしくお願ひいたします。

次に、定例会最終日の本会議で行います、委員長報告についてであります。資料1をごらんください。委員会報告書を要約した形で委員長報告（案）を作成しておりますので、ごらんをいただきたいと思います。御意見等ございませんでしょうか。

○井本委員 最初にこうやって必要であると考えていると書いてあって、あとでひっくり返すことになるんだけどね、どうだろうかね。特に、森林整備や太陽光発電、バイオマス発電など、本県の自然環境等を活かしたCO<sub>2</sub>削減を推進していく必要があると考えておりますと書いておいて、あとで太陽光発電は委員からも疑義が書いておって……。CO<sub>2</sub>削減は必要あるか

も知れないけど、私は、国の対策にははっきりいって疑問を持っているところで……。もうちょっと、他の言い方はないかね。

○西村委員長 今、井本委員からご指摘がありましたのは、1枚目の3段目の一番下の特にのあとの部分でよろしいでしょうか。特にというところの必要でありますという部分と4枚目の部分の整合性で、そのこの部分の指摘ということで、よろしいでしょうか。

確かに、その部分がありますので、1枚目の必要があると考えておりますのところの2行の部分削除させていただいて、よろしいでしょうか。今の削除の部分は、1枚目のほうの3段目の一番最後の2行になります。

○井本委員 特についていうと、特別強調する意味があるわけでしょう。あるとは考えられますとか言い換えれば、私はいいと言っているんです。削除するなら削除していただいても結構です。

○黒木覚市委員 特についていう表現を変えたらどうか。

○西村委員長 そうですね。特に必要があるという強い表現を避けまして、望まれますという柔らかい表現に変えさせていただきます。

その部分は、積極的かつ継続的な施策の展開が望まれますとしまして、特にというものを削除しまして、森林整備や太陽光発電、バイオマス発電など、本県の自然環境等を活かしたCO<sub>2</sub>削減を推進していくことが望まれます。望まれますが続きますので……。

○井本委員 推進、研究かなあ……。

○権藤委員 特にを取れば、井本さん、こだわらないんじゃないの。そうでもないの。

○井本委員 私は、推進していくこと自体が、当初、疑問を感じてるので、まだ、研究段階じゃ

ないかと思うけどね。

○鳥飼委員 温暖化の問題は、限られた石炭、石油、そういうところから永続的なエネルギーに変えていこうじゃないかという動きがあると思うんですよね。確かに、地球温暖化はそのものについては、ほぼ合意ができてるだろうと、ただ、温暖化の原因が二酸化炭素であるということについて意見が分かれているのは、確かに、学会では分かれているだろうと思います。今、そういう状況の中で、このエネルギーといいますが、非常に大事な、例えばハウスの暖房をどうやって確保していくのか、永続的に暖房を確保するとなったときに、自然エネルギーにシフトをしていく、当然、最初はお金もかかると思うんですけど、それをいろんな企業なりの開発研究の中でそれを低廉化をしていくことによって、日本になにもエネルギーの元がないなかで、大きな意味があると思います。ですから、ここに書いてあるような、バイオマスにしても、太陽光にしても、例えば、推進していくことについては、おおかたのところ異論がないんじゃないかなと思っていますので、そういう書き方をすればいいんじゃないかなと思います。

○井本委員 私は、また大いなる失敗をするんじゃないかと危惧するんですよね。まだね太陽光発電については、脈があるんじゃないかなって気がするけど、まだ元を取るのに23,4年かかるというわけでしょう。そしたら、その間に壊れますわ。だけど、それがもっと効率が良くなるという可能性があるという話でね、今の時点で、これを大規模なのを付けて20何年もかかって、元を取れんようなものを付けて、これを民間だったら、こんなこと誰もせんですよ。税金で自分の腹が痛まないから、こんなことやるんであって、これは、私は役人のやることじゃっていう

んですよ。ほんとね、調査研究ということで、今後の太陽光発電のパネルが効率よくなるということ的前提に研究していくのだったら、私はいいですよと。こんな大いなる無駄をよ、今からこんなに大規模にやらないかんのか、私ははっきり言って疑問を持ってるんですよ。

**○鳥飼委員** 確かに、井本委員の言われるように、今の価格でいくということについては、そういうことも出てくると思いますから、低廉化を図るとするのは当然のことだと思います。現在の経済危機、世界金融危機の中でどうやってしていくのかという中で、アメリカがグリーンニューディールということで、オバマ政権がですね、政策を打ち出してきております。それで、何百万人かの雇用を生み出して、ガソリン、自動車に代わるものをつくっていかうと、石油に代わる産業としてつくっていかうと、当然、コストのかかることはやれないし、やらないわけですから、コストを削減していくことが当然だろうと思います。

**○西村委員長** それでは、今の意見を踏まえまして、井本委員から指摘がありました後半のほうの疑義の部分と前段の特にという言い回しがイコールじゃないということで、特にというところを外しまして、CO<sub>2</sub>削減の研究という言葉も加えまして、研究・推進していく必要があるというふうに変えさせていただきます。

ほかにはございますでしょうか。

**○榎藤委員** 今のことで、井本委員の意見も十分わかるんだけど、この全員の委員としての個人としての発言ですが、井本委員の意見もわからなくてもないんだけど、経済性、採算性が取れる時点になったら、逆にブームが来るんじゃないかっていうのもあるわけですよ。だから、私はここで言ってることがね、この全体の委員の

意見として、私は間違っていないと思うんですよ、個人的に。だけど、井本委員の意見は尊重しなくてはいけないから、トーンダウンとか、そういったことについては、委員長、副委員長にお任せしますが、印象ががらっと変わるということでは困る。一年間かけて、これだけの人間が一所懸命勉強してきたわけだから、そういう全体的な流れが黒が白になるというようなことでは、私は困るということを申し上げます。

**○西村委員長** ほかに何かございませんでしょうか。それでは、ただいまの御意見を踏まえまして、報告を行いたいと思いますが、案文の最終的な修正につきましては、正副委員長に御一任いただくということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○西村委員長** それでは、そのように決定いたします。

そのほかに何かございませんでしょうか。それでは、ないようですので、これで当委員会の議事を終了したいと思います。閉会にあたりまして、私の方から一言ごあいさつを申し上げます。一年間、いろいろな私の不慣れな進行も多々ありましたが、非常に多くの環境問題に対する意義、疑問点のあぶり出し、また、深い議論ができたかと自負しております。これも、ひとえに委員の皆様方の協力があったからこそ、また、いろいろな視察先の施設、県の協力があったからこそだと思っております。また、環境問題は今後、さらなる必要性を、重要性を増していくと考えておりますので、ぜひ委員の皆様方には今後とも、積極的な環境また新エネルギーへの取り組みをよろしくお願ひしたいと思います。本当に、一年間ご苦労様でした。ありがとうございました。(拍手)

続きまして、副委員長からも一言ごあいさつをお願いしたいと思います。

○河野副委員長 一年間、本当にありがとうございました。エネルギーということに関して、宮崎ならではのことで、その観点でいろいろと勉強させていただいて、課題が多く見つかったという部分と目指さなきゃいけないものを提示できたのかなということで、また今後も、大きな課題として取り組んでいけるテーマだと思いますので、また、よろしく、皆様のお知恵をお借りしながら、頑張っていきたいと思います。本当に、一年ありがとうございました。(拍手)

○西村委員長 それでは、以上をもちまして、環境・新エネルギー対策特別委員会を終了いたします。

皆さん、お疲れ様でした。

午前10時13分閉会